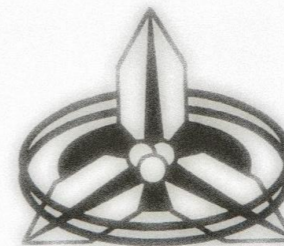


# 平成27年度 共に子どもを育む学校評価

学校の教育目標 「自ら学び、豊かな心とたくましく生きる力を持つ生徒の育成」

校訓 **自 学 自 己 を 磨 く**  
**敬 愛** 自ら学び、自己を磨く  
**創 造** 自ら考え、礼儀正しく、人を愛し、自然を愛する  
 自ら判断し、よりよいものを創りあげる



## 宮崎市立加納中学校

【自己評価書】 4段階評価 5 期待以上 4 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

【学校関係者評価書】

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評定		結果の考察・分析及び改善策	評価	学校関係者評価コメント
				指標別	総合			
学力向上に努める	学習意欲を高める授業を展開し、基礎・基本の定着と応用する力の向上に努める	・生徒による学校生活に関するアンケートで、毎日の授業は「わかる」「楽しい」が80%以上である。	・教材等の工夫 ・研究授業の実施 ・少人数指導の充実 ・小中一貫教育の研究・充実	3.2	3.3	◇「毎日の授業はわかりやすく、楽しい」について「そう思う」「ややそう思う」と答えた生徒が、79%と目標を下回った。「意欲的取り組みるように授業を工夫している」については、「そう思う」「ややそう思う」と答えている生徒が82%いる。分かりやすい授業となるように90%以上の生徒が「わかる」「楽しい」と思うように授業の工夫改善に努めたい。ICTを積極的に取り入れた授業をする職員も増えている。 ◇85%の保護者が「先生たちは、わかりやすい授業をしている」と答えている。 ◇『「2分前着席」「1分前黙想」など学習ルールが守られている』については、「そう思う」「ややそう思う」と答えた生徒が76%で目標を下回った。全校学習委員会の活動で生徒の自主性を高めるとともに、教師が始業前行動を心がけ、生徒への指導が必要である。基本的学習習慣をきちんと身につけさせ、授業に集中できる環境を整えたい。 ◇キャリア教育全体計画、年間指導計画の見直しを行った。職業調べや職場体験学習、私立・県立高校説明会などに力を入れ、生徒一人一人の進路設計を充実させている。 ◇諸テストの結果を分析し、教育相談や日常的な個別指導に役立てている。さらにテスト前の学習の仕方などに活用していきたい。	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業を参観すると、学級ごとに工夫が見られ、興味をもつような授業になっていると思った。また、自分で考えるような取組がされていると思った。</li> <li>少人数指導も一人一人の生徒にあった授業ができていて素晴らしい。</li> <li>環境が整い、基本的な能力が身に付いている生徒は、加納中の高い教育目標に結果を出していると思う。ただし、2割の生徒が「わかりやすい、楽しい」と思わないになっているのが残念である。</li> <li>3割の保護者が「家庭での学習時間が昨年より増えたか」の間にそう思わないと答えているのが気になる。</li> <li>2分前着席、1分間黙想は、授業に集中するために必要なことなので、次年度は、目標を上回るように学校の対応と生徒の自主性に期待したい。</li> <li>キャリア教育への取組等、高いレベルで行われていると感じている。</li> </ul>
	学習規律の徹底を図るとともに、基本的な学習習慣を確立させる。	・生徒による学校生活に関するアンケートで、「2分前着席」「1分前黙想」など学習ルールが守られているが85%以上である。	・準備、2分前着席の徹底 ・1分前黙想の徹底 ・姿勢、挙手、返事の指導 ・発表の推進 ・傾聴の徹底 ・家庭学習の徹底	3.7				
	キャリア教育の視点から3か年を見通した進路選択能力の向上に努める。	・1年生で5時間、2年生で8時間、3年生で7時間の体系的な進路学習に取り組む。	・キャリア教育全体計画、年間指導計画の見直し ・進路学習等の工夫・改善	2.9				
	諸検査の結果分析を行い、有効活用に努める。	・学力検査、意識調査の結果を分析し、個別指導や教育相談に生かす。	・学習相談の充実 ・個別指導の充実	3.5				
生徒の自主的・自発的な活動を推進する	生徒が存在感や達成感を実感できる、学級及び学年づくりに努める。	・生徒による学校生活に関するアンケートで、「学校は生徒一人一人のよさや可能性を伸ばすことに努力している」が85%以上である。	・生徒一人一人が活躍できる場や機会の工夫 ・教師の意図的な仕掛け	3.3	3.5	◇「学校は生徒一人一人のよさや可能性を伸ばすことに努力している」については、「そう思う」「ややそう思う」と答えた生徒が85%で、昨年度の84%から微増した。学級や学年で生徒一人一人が活躍できる場や機会を意図的に仕掛け、生徒が存在感や達成感を実感できるように生徒の活動を励まし、称賛していきたい。 ◇「学校行事の充実」は87%、「各種委員会の活性化」は92%の生徒が、「そう思う」「ややそう思う」と答えている。本年度も体育大会や合唱コンクールなどのリーダーや実行委員に積極的に立候補し、取り組み、充実した行事になっている。さらに生徒会が中心となって積極的に活動に取り組める機会と時間を保証していきたい。 ◇本年度は、八重川清掃や加納地域避難所運営体験など地区の方々や活動するボランティア活動に生徒会を中心に取り組んだ。 ◇87%の生徒が「部活動は活発でいきいきと活動しているか」では、「そう思う」「ややそう思う」と答えている。本年度は、県大会に出場した部活動も多く、日々の活動の成果が出ている。また、人間としての成長や部活動内での人間関係の醸成を目指して部活動集会やキャプテン会、顧問会を行った。生徒が自分自身が得意とする分野で精いっぱい力を発揮できるようにさらに指導に取り組みたい。 ◇96%の保護者が「清掃が行き届き、整理整頓されている」と答えている。美化委員会を中心に校内でのボランティア活動を呼びかけるなど、自らの手で美しく保っていくという取組がある。さらに「無音清掃」の徹底に教師と生徒とともに取り組み、自分たちの手で美しい環境づくりに努めようとする意識を養っていきたい。	4.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>この項目はいつも評価が高い。加納中の伝統だと思う。</li> <li>中学生は、自我が出てきて難しい時期であるが、授業態度も良く積極的に意見を言っていると感じた。また、作品や展示物を見てもとても素晴らしいものばかりだった。</li> <li>学校は、生徒一人一人のよさや可能性を伸ばすことに努力をしているが、すべての学級が数値目標を達成できるように取り組んでほしい。</li> <li>どの項目も85%以上というのは、なかなかできないことなので、努力していると思う。</li> <li>加納小、加納中と育ってきた子どもたちが他の学校と競ったり、進学したりしたときに、多少たくましさを感じることがある。たくましさも育ててほしい。</li> <li>中学生になると自分で何でもできるようになるので、各種委員会活動も部活動の積極的に取り組んでいてとても頼もしく感じる。</li> <li>体育大会は、生徒の団結が表れていて、感動が伝わってきた。</li> <li>八重川清掃や加納地域避難所運営体験などとてもよい体験をしている。実際に体験して得るものは大きいと思う。</li> <li>清掃、整理整頓の指導よくできていると思う。</li> </ul>
	生徒会活動の工夫・改善・充実に努める。	・生徒による学校生活に関するアンケートで、「学校行事の充実」や「各種委員会の活性化」が85%以上である。	・生徒が参画する学校行事や専門委員会の工夫・改善 ・ボランティア活動等の工夫・改善	3.8				
	部活動の充実を図る。	・生徒による学校生活に関するアンケートで、「部活動は活発でいきいきと活動しているか」が85%以上である。	・部活動集会やキャプテン会・顧問会の開催 ・ルールやマナーの遵守 ・信頼関係の構築	3				
	「無音清掃」の徹底と美しい潤いのある教育環境づくりに努める。	・保護者による学校評価アンケートで、「清掃が行き届き、整理整頓されている」が90%以上である。	・清掃の共働体制の充実 ・学級設営の充実 ・生徒作品の掲示・展示	3.7				

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評価		結果の考察・分析及び改善策	評価	学校関係者評価コメント
				指標別	総合			
豊かな心とたくましい体を育む活動を推進する	道徳の時間における指導方法の工夫に努める。	・道徳の時間を100%実施するとともに、道徳的実践力を身に付けさせる。	・生徒の心に迫る授業の展開 ・学年間の共通認識 ・資料の共有化	2.7	3.2	<p>◇道徳の時間は100%実施できた。題材や指導法の工夫や生徒の心に迫る授業の展開についての職員研修を行った。道徳の時間を充実させ、道徳的心情を醸成するとともに、道徳的実践力を日々の生活の中で培っていききたい。</p> <p>◇88%の保護者が「生徒一人一人を大切にし、認めている」で、「そう思う」「ややそう思う」と答えている。昨年度からすると7%増加している。89%の保護者が、「加納中の先生は、生徒や保護者からの相談に応じているか」で、「そう思う」「ややそう思う」と答えている。79%の生徒が、「加納中の先生は、気軽の相談に応じているか」で、「そう思う」「ややそう思う」と答えている。昨年度よりわずかに減少しているため、定期的な教育相談だけでなく、教師の生徒への声掛けやチャンス相談など日常的な取組に力を入れる必要がある。</p> <p>◇体力向上プランに基づいて体育の授業で取り組んでいる。昼休みに元気に運動する生徒は増えつつある。昼休みの外遊びをさらに促したい。65%の生徒が運動系の部活動をしている。</p> <p>◇94%の保護者が、「生徒の安全や事故防止に配慮している」で、「そう思う」「ややそう思う」と答えている。下校時の反射たすきの着用や部活動終了時に校門での下校指導を行うなど、生徒の安全や事故防止に取り組んでいる。危険回避能力を向上させ、いつでもどこでも自分の命は自分で守る生徒の育成に努めたい。</p> <p>◇夏季休業中に職員対象に避難所運営訓練を行った。生徒への防災教育の充実が必要である。</p>	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強だけではなく、心のケアや人権に関すること等人間として尊重する、尊重されることの重要性も学ばせているのですばらしいと思う。</li> <li>・人が見ていない所でも一生懸命に取り組んでほしい。裏表のない態度とはどんなことなのかを考えさせてほしい。</li> <li>・先生方の生徒への声かけ等の取組を大いに推進してほしい。</li> <li>・相談しやすい環境づくりへの取組をお願いしたい。</li> <li>・一部の問題が、全体が良すぎて見えなくなっているのではないかと気になる。子どもたちが皆のことだと考えて行動できるように育ててほしい。</li> <li>・最近は、スマホやゲームなどの普及で外で遊ぶことが少なくなってきたので、体力面が心配だが、昼休みにたくさん外で運動している姿がよく見られる。部活動の活躍もよく耳にする。</li> <li>・自転車の乗り方はもちろん登下校の歩き方等のマナーや危険回避の習慣は、いくら身につけてもやり過ぎることはない。</li> <li>・生徒の安全や事故防止は重要なので、より一層の取組が望まれる。</li> <li>・以前は、登下校時に2列で歩く姿を見かけたが、最近は改善されている。</li> </ul>
	人権教育の充実を図るとともに、人権感覚の高揚に努める。	・保護者による学校評価アンケートで、「生徒一人一人を大切にし、認めている」が90%以上である。	・人権週間における諸活動の実践 ・情報モラル教育等の充実	3.4				
	健康な生活に資する体位・体力の向上に努める。	・体力向上プランを実践し、前年度の各種目の平均値を上回る。	・体力向上プランによる実践活動 ・昼休みの運動の奨励 ・体育学習の充実	3				
	命の尊厳や思いやりの心を育てる活動を充実する。	・保護者による学校評価アンケートで、「生徒の安全や事故防止に配慮している」が90%以上である。	・防災教育の充実 ・危険回避能力の向上 ・教育相談の充実	3.5				
家庭・地域から信頼される学校づくりを推進する	保護者や地域等への情報発信に努める。	・学校便り、学年・学級通信等を定期的に発行する。 ・HPを定期的に更新する。	・魅力ある学級・学年・学校だより・HPの工夫 ・迅速かつ的確な対応	3.5	3.3	<p>◇学校だよりや学年・学級通信は、定期的に発行されていた。ホームページの更新に取り組んだが、まだ十分とは言えない。宮崎市教育情報センターの情報アドバイザーの協力を得て、全職員でホームページの作成に取り組むたい。生徒の生き生きとした活動や学校の取組を広く情報発信していきたい。</p> <p>◇地域で生徒を見守っていただくことの大切さ認識し、地域との連携を深めることは重要と考えている。民生委員・児童委員、主任児童委員を交えての会を全職員出席して行っている。地区懇談会には区長にも出席していただいた。地域での生徒の様子や危険個所の情報提供などあり、有意義である。</p> <p>◇家庭科の授業に食生活改善委員の方や婦人会の方に参加していただき、生徒の活動を見守っていただいた。生徒と地域の方のつながりを深めることができた。</p> <p>◇かとうinフェスタの会場のテント立てに協力することができた。</p> <p>◇学校関係者評価委員の方には、行事のたびに学校に来ていただき、生徒の様子を見ていただいている。学校評価を年度末に保護者・地域に開示し、学校運営の改善に努めていきたい。</p> <p>◇加納小学校と合同研修会をもち、小学校と中学校とで授業参観と授業研究会をそれぞれで行った。児童生徒の情報交換会を行い、一貫教育の推進を図っている。</p>	4.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・徒の生き生きとした活動や学校の取組をホームページに掲載し、家庭や地域に学校の様子を伝えてほしい。</li> <li>・学校からのプリントを家の人に渡していますかとの間に2割程度の生徒がそう思わないとあり、以前から気になっているが、保護者との連携のためにも改善が望まれる。</li> <li>・加納小・加納中は、地域ともよく交流が見られ、地域ぐるみで見守っている印象を受ける。イベントなどでは、よく動いてくれて頼もしいと思う。</li> <li>・加納は、学校も地域も連携していると思う。</li> <li>・地域の方とのつながりを今後も深めてほしい。</li> <li>・小中一貫教育にかかる合同研修会や研究授業などの取組も優秀な人材が多い一つの取組だと思う。</li> <li>・小学6年生に中学校に来てもらい、1日体験授業や子どもたちとの情報交換会などを行い、早めに中学校に慣れ親しむ環境づくりをしてはどうだろうか。</li> </ul>
	関係諸機関との連携を図り、協力体制の確立に努める。	・会合への参加、協議会の実施を推進する。 ・かとうinフェスタへの職員・生徒の積極的な参加を促す。	・加納地域まちづくり協議会、青少年育成協議会、民生委員、児童委員協議会等との連携	3.2				
	学校関係者評価を活用し、学校運営の改善に努める。	・年度末に自己評価並びに学校関係者評価を実施し、保護者・地域の方々への公表を行う。	・評価項目やアンケート等の工夫・改善 ・意見交換会の実施 ・評価結果の公表	3.1				
	加納小と連携し、9か年を見通した一貫指導に努める。	・小中一貫教育に係る合同研究会や研究授業等の教育活動を充実させながら、児童生徒の豊かな成長を支援する。	・合同研究会の継続 ・情報交換による児童生徒理解	3.3				

### 【自己評価書】

【学力向上について】  
 ・基本的な学習態度の徹底を図る。(3分前行動・2分前着席・1分前黙想)  
 ・分かりやすく、鍛える授業を目指して授業改善に力を入れる。  
 ・キャリア教育の視点に立った教科指導に努め、生徒の学習意欲の高揚に努める。

【生徒活動の推進について】  
 ・生徒会活動の活性化を目指す。(リーダー養成研修会の実施、ボランティア活動の活性化と地域への貢献、各種委員会活動の活性化等を通して、生徒を称賛し、集団の力を伸ばす。)

【心豊かでたくましい生徒の育成】  
 ・人権教育・道徳教育に更に力を入れる。(道徳の時間の充実、人権週間のみならず、年間を通して人権に係る意識の高揚を目指す。)  
 ・体力の向上に更に努める(教科体育・部活動の充実)

【家庭・地域から信頼される学校】  
 ・生徒及び保護者並びに地域の方々への丁寧な対応を徹底する。  
 ・情報の発信を更に進める。  
 ・地域人材の発掘と活用を更に進める。  
 ・学校評価を活用した学校改善に更に努める。  
 ・加納小学校との一貫・連携教育を更に進める。

### 【学校関係者評価書】

1 本年度の取組について  
 ・加納中は本当に良い学校だと思う。先生方の努力がうかがえる。  
 ・自己評価の3未満の項目は、特に改善策に向けた取組に力を入れてほしい。  
 ・体育大会や合唱コンクールへの取組の姿勢が良い。

2 次年度への改善に向けて  
 ・「授業がわかりやすいか」「家庭学習の時間が増えていない」「2分前着席ができていないか」「通信が保護者に渡されているか」「学校での出来事を家族に話しているか」について改善が望まれる。  
 ・学年ごとの傾向に対応した改善策を立て、取り組んでほしい。